

北海道浮魚ニュース

平成 28 (2016) 年度 11 号

2016 年 7 月 22 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 21 日、水産研究・教育機構より第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は日本海全域を対象とした漁期後半 (8~12 月) の予報です。

なお、この予報は国及び日本海側道府県の水産研究機関が参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

今後の見通し (2016年8~12月)

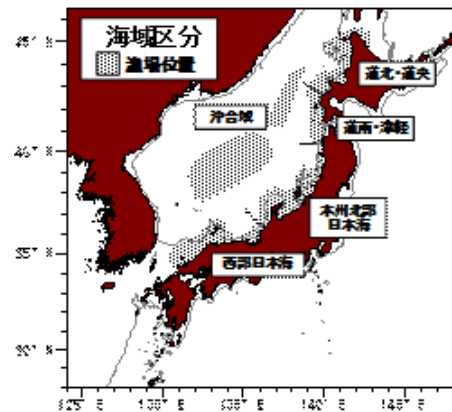
対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 日本海 (道北・道央、道南・津軽、本州北部
日本海、西部日本海、沖合域)

対象漁業 : 主にいか釣り漁業・小型いか釣り漁業

対象魚群 : 秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- ・今期の日本海全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
- ・道北・道央の漁期前半は前年並で、近年平均を下回る。
- ・道南・津軽では前年を上回り、近年平均を下回る。
- ・その他の海域では前年および近年平均を下回る。
- ・本州北部日本海および西部日本海では近年同様、好漁場が形成されにくい。
- ・沖合域では、道北沖で 8 月~11 月、大和堆周辺海域で 11 月~12 月に漁場が形成される。



※近年は過去 5 年 (2011~2015 年) 平均、前年は 2015 年のことです。

・ 6 月下旬~7 月上旬に実施した日本海漁場一斉調査 (函館水試調査分は浮魚ニュース第 8 号参照) で全国の資源量指数が前年及び近年平均を下回ったことから、来遊量は「前年及び近年平均を下回る」と予想されました。

・ 日本海漁場一斉調査での海域全体の外套長組成は、18cm より小さい個体が近年平均より少なく、全体として近年平均より大型でした。

・ 日本海全域の漁獲量は、1 月~2 月および 4 月~5 月には前年および近年平均を下回り、3 月には前年および近年平均並でした。6 月には道南・津軽で前年および近年平均を上回りましたが、その他の海域では前年および近年平均並から下回る値でした。

(函館水産試験場調査研究部 TEL : 0138-83-2893、FAX : 0138-83-2849)